

摩周厚生病院隣接地で移転改築が進められてきた  
 養護老人ホーム倅和園と特別養護老人ホーム摩周  
 が完成しました。  
 4月18日には全入居者が新施設への移転を終え、  
 安心して快適な生活を始めています。



エントランスからラウンジを望む

# 新しい老人ホームが 完成しました

住み心地の良さと自然との共存を両立

新しい老人ホームは鉄筋コンクリート2階建てで、延べ床面積は約9千433平方メートル、総事業費は約34億円。誰もが使いやすいユニバーサルデザインを採用し、住み心地の良い施設となっています。

居住性を高めるため、居室を完全個室化。摩周が行うショートステイ事業も完全個室です。定員は倅和園が70人、摩周が100人、ショートステイ10人となっています。倅和園にはコネクティングタイプ(2室つなげて使用できる)の居室を5組設置。夫婦部屋としての利用も可能です。

倅和園の浴室には温泉を利用し、心身の健康維持を目指します。



温泉利用の倅和園浴室は「倅(さち)の湯」という名に

用空間で、ふれあいの場として利用されます。

倅和園・摩周では、厨房や機械室などを共用設置して施設の効率化を図っています。また、温泉熱を暖房や給湯のメインエネルギーに利用するとともに太陽光発電も取り入れ、環境に優しい自然エネルギーを積極的に活用しています。

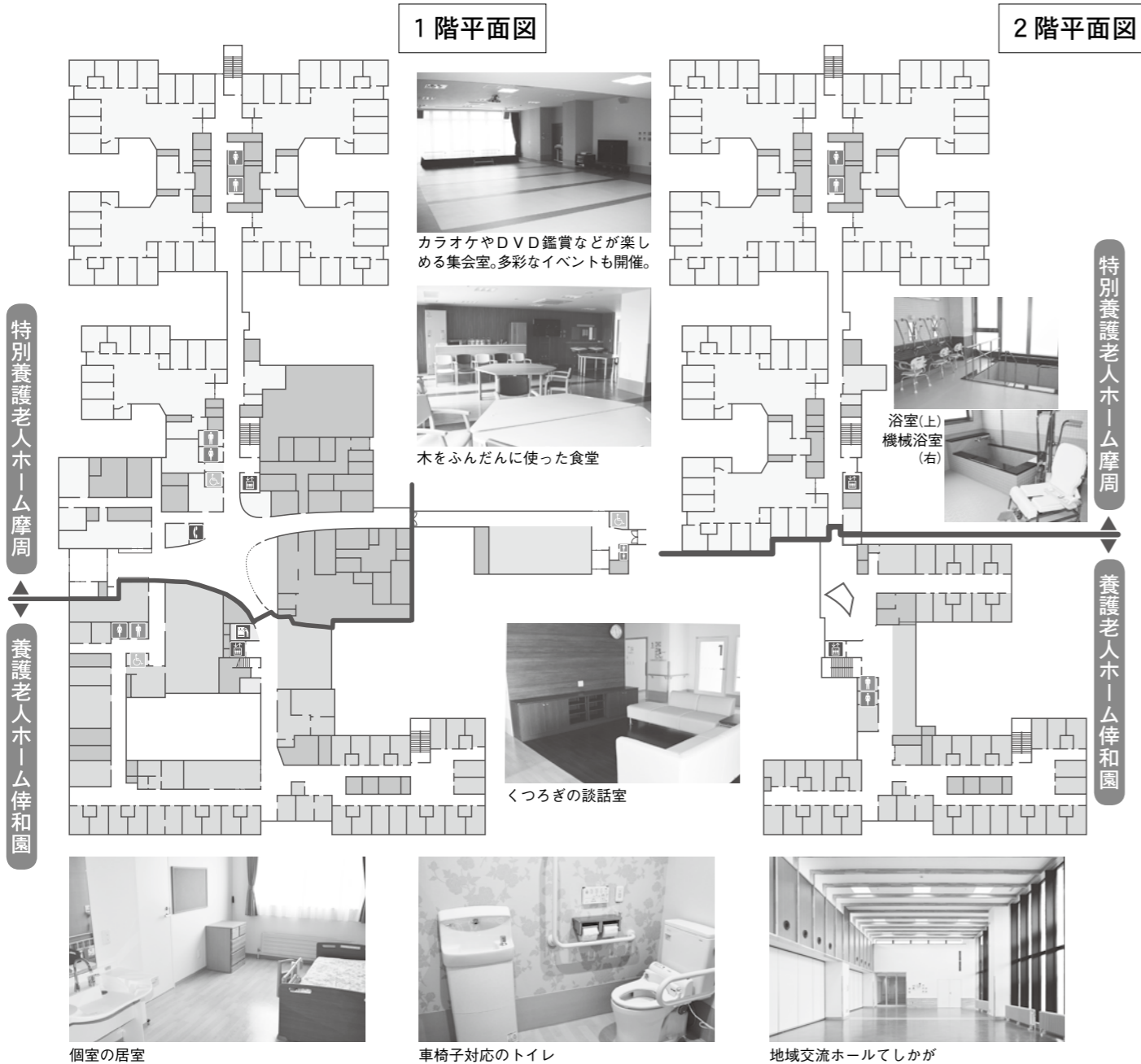
## 世代間交流・医療と福祉の連携を目指し

新しい老人ホームが目指したものは2つ。1つは、高齢者の皆さんが、若者世帯や子どもたちとの世代間交流ができるような施設であること。もう1つは、医療と福祉の連携を強化した施設であることです。

そのため、老人ホームと摩周厚生病院を渡り廊下でつなぎ、

途中に地域交流ホールを設置しました。ホールは、地域の方々がさまざまな目的で使用することができ、さらに、災害時は福祉避難所として活用されます。

ホールの内装には道産材をふんだんに使い、ぬくもりのある空間にしました。



1階平面図

2階平面図



カラオケやDVD鑑賞などが楽しめる集会室。多彩なイベントも開催。



木をふんだんに使った食堂



浴室(上)  
機械浴室(右)



くつろぎの談話室



個室の居室



車椅子対応のトイレ



地域交流ホールでしかが

## 弟子屈産マンゴーに舌鼓



甘いマンゴーに笑顔の入居者の皆さん

老人ホーム倅和園の入居者の皆さんが4月24日、温泉熱を利用して町内で生産されたマンゴーをおやつに楽しみました。

マンゴーを生産するファーム・ピープル(株)村田光宗代表取締役から贈られたもの。「口の中でとろけるような感触」「とても甘くておいしい」などの声が上ががり、好評でした。

養護老人ホーム倅和園では、アクティビティケア(心身活性化のための活動)の一環として、カラオケを定期的に行っています。

新しい老人ホームでは5月7日に初めて開催し、約50人が参加。新しい70インチのテレビを利用して代表の12人が代わる代わる歌い、2時間ほど楽しみました。

## 初めてのカラオケクラブ



大画面でのカラオケを楽しむ

## 移転新築を祝って落成式



落成を祝って鏡割り

養護老人ホーム倅和園と特別養護老人ホーム摩周の移転新築落成式が5月15日、地域交流ホールでしかがで行われました。

式には利用者や関係者など約80人が出席。協力いただいた皆さんとともに、老人ホームの完成を祝い、今後のよりよい運営をあらためて誓いました。